

二〇二六年度 二月二日 入学試験 国語問題

国語の注意

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

答えは解答らんからはみ出さないように書きなさい。

字数の指定がある場合は、句読点や記号なども一字に数えなさい。

受験 番号					
氏名					

【試験についての注意事項】

1 机の上に出してよいものは、次の三つです。それ以外のはカバンにしまってください。

① 受験票（机の左上におきます）

② えんぴつ数本（シャープペンシルも可・色ペンやマーカー、定規は使用不可）

③ 消しゴム（カバーを外した状態）

2 次のものを持ってきた場合は、カバンにしまってください。また、休けい時間中も使用できません。

① 腕時計・置き時計など（音が鳴らないようにしてください）

② 携帯電話やスマートフォン（電源を切ってください）

③ ウェアラブル端末（Apple Watch など）

※ 許可なく携帯電話・スマートフォンやウェアラブル端末を使用したり、携帯電話が鳴った場合、不正行為とみなす場合があります。

3 机の中には、何も入れないでください。

4 チャイムが鳴ったら、次のことを完了してから始めてください。

問題用紙 ↓ 受験番号 と 氏名 を記入してください。

解答用紙 ↓ 受験番号 と 氏名 を記入し、席に準備されているシールを貼ってください。

5 問題についての質問は、いっさいできません。

6 気分が悪くなったら、すぐに申し出てください。

7 物を落としたら、自分でひろわず、手をあげてください。

次の文章は、坂本葵『その本はまだルリユールされていない』の一節です。

これを読んで、後の問いに答えなさい。

※設問の都合により、本文には一部省略や改変した箇所があります。

※設問中の「本文」とは、次の1〜4ページの文章『その本はまだルリユールされていない』の一節のことを指します。

まふみは、司法書士(※司法を法律に関する手続きを行う専門家。司法書士になるためには難関な国家試験に合格する必要がある)になる夢をあきらめず、司書として小学校で働きはじめました。ある日のお昼やすみ、うっかり『とべない鳥のしょくくん』の絵本を破ってしまった。一年生のリサとシヨウタに助けを求められます。図書室担当の小比木先生は、よほど貴重な資料でない限り、再購入はできないので、この絵本は廃棄だといいます。そこで、まふみは、どんな本でも修理してくれる「ルリユール工房」(※ルリユール フランス語で「綴じ直す」)、「手仕事の製本」という意味)へ二人を連れて行くことにしました。

(本文省略) ※著作権法上の手続き完了まで省略します。

問一 線①〜③のかたかなをそれぞれ漢字に直しなさい。

問二 線①「固唾を呑んで」とありますが、「固唾を呑む」の文中でのことばの意味として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 身を乗り出して楽しんでいる様子
- イ 目の前にあるものが欲しくてたまらない様子
- ウ 成り行きが気になって緊張している様子
- エ 不安になって落ち着こうとしている様子

問三 線(1)『とべない鳥』だけど、ちゃんと飛べるようになるのよ』とありますが、「ちゃんと飛べるようになる」とはどのようなことですか。本文中のことはをつか

つて答えなさい。

問四 線(2)「何とも言えない奇妙な気持ちに支配されていた」とありますが、このよ

うな気持ちになった理由を述べた次の文を読み、後の1・2にそれぞれ答えなさい。

「ア」 「ア」するように、本の内側の世界を初めて見たことで、これまで「イ」として理解していた本が、それぞれ独立した「ウ」をまず「エ」で繋ぎ、次に「オ」で綴じることによって構成されているのだ、ということを知ることができたから。

1 「ア」にあてはまる部分を本文から二十七字で探し、はじめの五字を答えなさい。

2 「イ」〜「オ」にあてはまることばを、それぞれ漢字一字でぬき出しなさい。

問五 線(3)「ある種の痛みを感じていた」とありますが、その理由として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 自分は正直に話したことで、すっきりした気分になったが、友人には気がつかせてしまったから。

イ これまで歩んできた自分の人生のあり方をつきつけられ、自分が情けなく感じられたから。

ウ 親友や母親に気づかれないように嘘をつき続けていた自分が恥ずかしく感じられたから。

エ 隠し通したかった弱みを友人に握られてしまった自分がみじめで耐えられなくなったから。

問六 線(4)「紙を見る。これまでどれも均質に見えていたものの、違いがわかる」とありますが、紙が「均質に見えていた」時と、紙の「違いがわかる」ようになった時の感じ方を象徴的に表現したひとつづきの三文を本文から探し、それぞれはじめの五字を答えなさい。

問七 線(5)「もし、人生が本のようなものであったなら。まとももなく綻んでしまった私の人生を、針と糸で綴じ直すことができたら」について、次の1・2にそれぞれ答えなさい。

1 「まとももなく綻んでしまった」とはどのようなことですか。適切でないものを

次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 過去の努力が実を結ばなかったということ

イ 過去が今につながっていないということ

ウ 過去の挫折を乗り越えたということ

エ 過去が無駄になってしまったということ

2 1をふまえ、「私の人生を、針と糸で綴じ直す」とはどのようなことですか。答えなさい。

問八 線⑥ 「何の味もせず、べたついた触感だけが指先に残った」とありますが、これについて述べた次の解説文を読み、後の1〜4にそれぞれ答えなさい。なお、同じ記号の空らんには同じことばが入ります。

まふみは、「糊の性質を」A「と瀧子親方から教わり、家で実際に糊を舐めてみたが、何の味も感じる事ができず、べたついた触感が指に残っただけであった。つまりまふみは、親方のように糊がBを察知することがまだできないのだと考えられる。このことをふまえると、「何の味もせず、べたついた触感だけが指先に残った」という本文最後の一文は、まふみが人生を「C」するタイミングはまだ来ないということを暗に示しているようにも捉えられるだろう。
しかし、「子どもの頃からべたべたする糊が苦手」だったまふみが、最初は驚いていた「糊を舐める」行為に挑戦したこと自体に注目すると、まふみがDの様子を読み取ることもできる。まふみにとっての「C」は、これからはじまるのである。

- 1 A にあてはまることばを自分で考えて答えなさい。
- 2 B にあてはまることばを本文から十二文字でぬき出して答えなさい。
- 3 C にあてはまることばを本文から五文字でぬき出して答えなさい。
- 4 D にあてはまることばを自分で考えて答えなさい。

二

次の文章は、河合隼雄『青春の夢と遊び』の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

※設問の都合により、本文には一部省略や改変した箇所があります。

(本文省略) ※著作権法上の手続き完了まで省略します。

問一 線①〜③のかたかなを漢字に直しなさい。

問二 X・ Y に入ることばとして最も適切なものを、次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- X
- ア 共感 イ 尊敬 ウ 軽蔑 エ 無視 オ あこがれ
- Y
- ア 重要な イ 豊かな ウ 一般的な
- エ 余計な オ 曖昧な

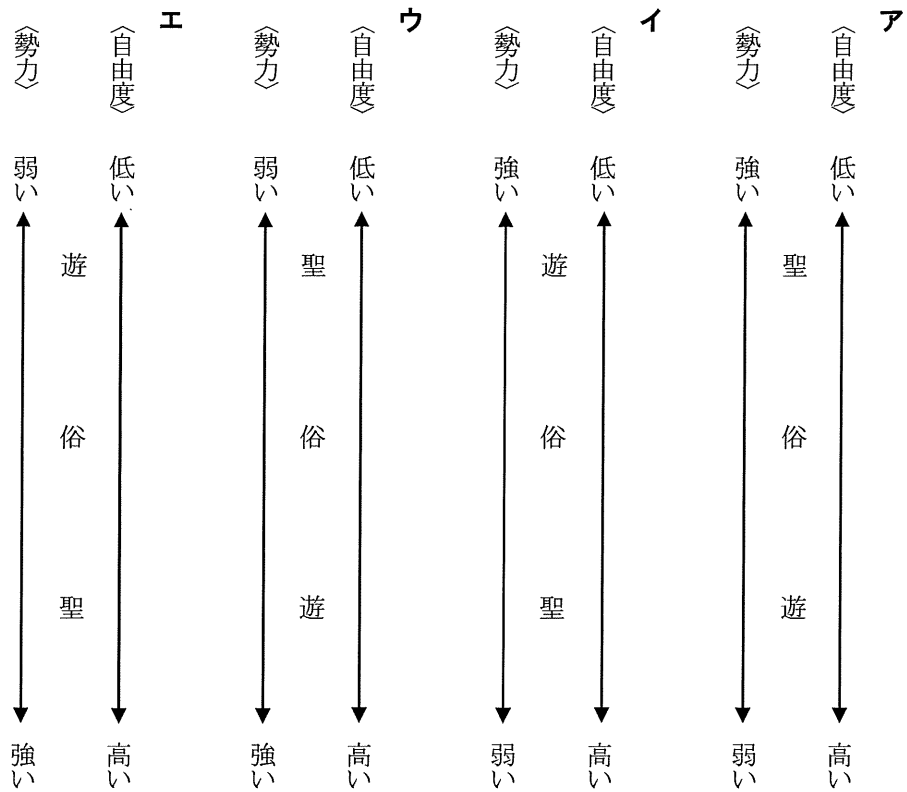
問三 Z に入ることばを本文から漢字十二文字でぬき出して答えなさい。

問四 次の表は、ホイジンハ、カイヨワ、筆者の考えをまとめたものです。これを見て、後の1〜3に答えなさい。

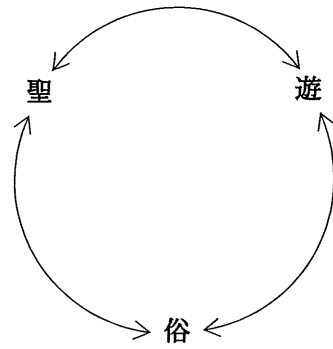
筆者	カイヨワ	ホイジンハ
<p>カイヨワの考えでは【B】と【D】が切断されてしまうと批判 特に現代では【F】的構造が極めて曖昧であると指摘した ↓聖・俗・遊は円環(的)構造として捉える方が 実状に合っていると主張した</p> <p style="text-align: right;">↓ 図2 (矢ペーシ)</p>	<p>ホイジンハの考えは【C】する一方で、【B】の中に【D】の概念が 混在していると批判 ↓【B】と【D】の間に【E】が存在し、 ↓ 図1 (下巻)</p>	<p>【A】が第一義で【B】は第二義という従来の考え方を覆えし、 【B】がいかなる文化よりもさらに根源的であると主張した</p>

1 表の【A】〜【F】にあてはまることはそれぞれ答えなさい。なお、同じ記号の空らんには同じことばが入ります。

2 表の中の図1(カイヨワの主張する構造を表した図)として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。



3 次の図は表の中の図2(筆者の主張する構造を表した図)です。この図について、「聖・遊」を結ぶ矢印にはどのような意味がありますか。本文中のことはをつかかって答えなさい。



問五 線①④について、「聖」「俗」「遊」のうちどの二つの関係を表す例ですか。最も適切なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 「聖」と「俗」
- イ 「俗」と「遊」
- ウ 「聖」と「遊」

問六 線「わが国ではもともと田環的構造が顕著であった」とありますが、筆者が「このように述べているのはなぜだ」と考えられますか。本文の内容をもとにして、あなたの考えを説明しなさい。

二〇二六年度 国語解答用紙

試験会場の机の上にある
シールを1枚ここに貼ります

受験番号				

氏名

①	問一	—
②		
んだ		
③		

	問二
--	----

問三		
----	--	--

2	1	問四
イ	ア	
ウ		
エ		
オ		

	問五
--	----

Ⅱ	Ⅰ	問六

2	1	問七

4	3	2	1	問八

①	問五
②	
③	
④	

問六		
----	--	--

3	2	1		問四
		D	A	
		E	B	
		F	C	

X	問二
Y	
問三	

①	問一	—
②		
③		